



華僑大学数量経済 と統計研究院

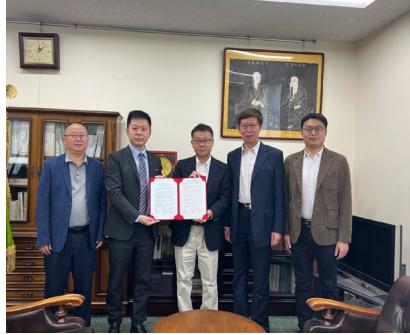
Huaqiao University Institute of
Quantitative Economics and Statistics



- 学部学生 23,800人 ●大学院生 420人 ●教職員 2,730人
- ホームページ <http://www.hau.edu.cn/>
- 交流協定締結年月日：2019年3月18日 主管学部：経済学部



2019交流協定調印



2025交流協定更新

国際交流の特色

華僑大学は1960年に福建省泉州市で設立され、國務院華僑事務弁公室直属の大学である。初代学長は毛沢東時代に日中友好交流に最も貢献した廖承志氏。華僑大学は、中国でもっとも早く理事会制度を実施している大学の一つである。2006年アモイキャンパスが開設された。華僑大学は“海外向け、香港・マカオ・台湾向け”的教育方針で、これまで20万人以上の卒業生（そのうち5万人以上が留学生）を送り出した。多くの卒業生は国際交流の友好使者だと評価された。華僑大学は英タイムズ紙刊行の「グッドユニバーシティガイド・ランキング」2017年で、中国では第78位。華僑大学統計学院と数量経済研究院は元学長承業教授の主導で設立された教育研究組織で、計量経済研究の領域において中国ではトップクラスの一つである。

交流実績（令和4年度～令和6年度）

年度 受入・派遣	R4	R5	R6
学生の受入	1	1	0
学生の派遣	0	0	0
研究者・職員の受入	0	0	3
研究者・職員の派遣	0	0	0
オンライン交流参加者（本学）	24	0	0
オンライン交流参加者（相手機関）	2	0	0

教員からの声

1995年、姚峰教授は世界計量経済学会において華僑大学元学長（当時副学長）吳承業教授に出会い、研究教育交流が始まった。姚峰教授と井上信一元教授（現在、名誉教授）は基盤研究（B）を実施する際に華僑大学を数回訪問交流した。2008年経済学部主催の国際シンポジウム「計量ファイナンスと時系列解析法の新たな展開」に胡日東院長と林俊国教授及び陳燕武教授が参加し、2017年経済学部主催「2018 Kagawa International Symposium: Recent Developments in Statistics and Econometrics」に張秀武教授が参加した。張秀武教授は、2015年に外国人研究者の身分で経済学部において1年間研究交流をした。これまで、共同研究論文4本、学会報告5回の交流実績がある。令和4年に交換留学生1名を受け入れた。

アモイ（廈門市）は福建省南部の九竜江河口付近に位置し、市内には廈門島や鼓浪嶼（コロンス島）などの島嶼部が含まれる。鼓浪嶼は独特な景観と文化で国内外の観光客に好評されている観光名所です。

経済学部教授 姚峰